

開設科目名	世界遺産と地域計画		担当教員: 益田兼房・板谷(牛谷)直子								
開講期	前期	授業方法	講義		単位数	2単位		週時間	2時間		
対象学生	1回生	科目番号	050620		金曜日	9・10時限	E261教室				
授業の概要	本授業では、世界遺産の価値や保護の手法を講義し、演習等を通じて文化遺産を守るための地域計画や文化の伝承のあり方について紹介し、地域変革を促す人材に必要な文化に関する基礎的知識や考え方を説明する。										
学習・教育目標	世界遺産の価値や保護の手法を知り、文化遺産を守るための地域計画のあり方や文化の伝承について理解し、地域変革を促すのに必要な文化に関わる考え方を身につける。										
キーワード	世界遺産、地域計画、文化の伝承										
授業計画	第1回 ガイダンス、世界遺産とは何か: 条約の枠組みと運用 地域計画と文化遺産 第2回 世界遺産「古都京都の文化財」(第2回～第4回): その構成と価値 第3回 緩衝地帯と開発計画 景観保全計画と地域社会 第4回 文化遺産の危機管理 地震火災と地域防災計画 地域社会の参加 第5回 地域遺産「琉球王国のグスクと関連資産群」(第5回～第6回): その構成と価値 第6回 地域社会と御嶽 無形の文化遺産の継承 第7回 世界遺産「白川郷五箇山の合掌造り集落」(第7回～第8回): その構成と価値 第8回 伝統的地域社会での保存技術 観光と地域社会 第9回 日本の世界遺産候補地区の保存 地域社会の変革と女性の役割 第10回 西欧諸国の世界遺産 その構成と価値 地域保全計画と地域社会 第11回 アジア諸国の世界遺産 その構成と価値 価値観の変化と開発の危機 第12回 実習 第13回 実習 第14回 実習 第15回 試験(または論文提出)										
教科書	なし。授業のなかで随時紹介するので、演習レポート等に活用すること。										
参考書	「建築遺産の保存 その歴史と現在」ユッカ・ヨキレット著										
成績評価方法	授業や演習への出席、演習のレポート提出、試験(または論文報告)で評価。										
評価割合	定期試験 (中間・期末試験)	小テスト・ 授業内レ ポート	宿題・授業 外レポート	授業態度・ 授業への 参加度	受講者の 発表(プレ ゼン)	出 席					合計
	60%	20%	%	%	%	20%	%				100%
備考											